

国語科 学習指導案

貝塚市立中央小学校

1. 日 時 令和7年11月27日(木)第5時限 13:40~14:25

2. 場 所 第1学年2組教室

3. 学年・組 第1学年2組(30名)

4. 単元名 【大好きな本の大好きな場面を音読して紹介しよう】
「たぬきの糸車」(使用図書・教科書:)

5. 単元の目標

◎場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること(思(1)エ)

○・場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えること(思(1)イ)

○読書に親しみ、いろいろな本があることを知ること(知・技(3)エ)

○大好きな本を紹介することに向けて、いろいろな本を積極的に読み、選んだ物語を何度も読み返すなどしてよりよく説明しようとしている、(主体的に学習に取り組む態度)

6. 単元で取り上げる言語活動

「大好きな本の大好きな場面を音読して紹介する」言語活動を位置づける。併設する幼稚園の園児に紹介することをゴールにし、大好きな場面が伝わるように音読したり、想像した会話を伝えたりすることで、好きと感じたところがより伝わるようにする。

7. 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none">・語のまとまりや言葉の響きに気をつけて音読することができる。・読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。	<ul style="list-style-type: none">・場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。・場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。	<ul style="list-style-type: none">・好きな本を紹介することに向けて、いろいろな本を積極的に読み、本を選んでいる。・教科書教材で学んだことを生かして、自分の選んだ本に取り組んでいる。・友だちに自分の考えを伝えている。

8. 指導にあたって

(1)児童観

省略 当日配布資料には記載

(2)教材観

本教材は、糸車をめぐる登場人物の行動描写や出来事の展開によって、登場人物同士の「心の交流」を思い浮かべながら、温かな気持ちで読み進めることができる物語である。自然と愛らしさいたぬきに心を寄せながら読み、そのたぬきを見ることでたぬきへの思いを変えていくおかみさんの姿に共感し、人の思いやりや心の変化に気づくことができる。

子ども達は叙述を基に「ここが好きだな。」と感じたところを言葉に表し、その理由を伝え合う活動を通して、自分の思いを言葉にする力や、感情と根拠を結び付けて説明する力を育っていく。

さらに、この学びを自分の大好きな本への読みに広げ、好きなところとその理由を明確にして紹介できる力につなげたい。幼稚園児への本の紹介では、自分の好きな本を①内容の大体と②好きな場面の音読、③好きな理由、④想像した会話を話して紹介し、相手に自信を持って魅力を伝える経験を重ねる。

(3) 指導觀

- ・場面の様子に着目して、登場人物の言動、特に会話行動を具体的に想像しているかどうかを見るとために、大好きな場面の登場人物の会話を想像して吹き出しカードに書きだす活動を取り入れる。その際すぐに書き出させるのではなく十分にペア交流を取り入れることで想像した会話をより確かなものにしていく、書くことに抵抗のある子についても書く手助けになると考える。

9.指導と評価の計画(全9時間) ◎…記録に残す評価 ○…指導に生かす評価

時	主な学習内容	知技	思判断	主体	評価標準・評価方法
1	教師の好きな絵本の紹介を聞き、学習イメージと「（ねん2くみほんやさんへようこそ（幼稚園の園児への本の紹介）」への見通しを具体的に持つ。 大好きな絵本を選ぶ。			◎	【主】 好きな本を紹介することに向けて、いろいろな本を積極的に読み、本を選んでいる。
2	「たぬきの糸車」について、お話の好きなところを探し、声に出して読みながら、内容の大体を読む。		◎		【思】 場面の様子や登場人物行動など、内容の大体を捉えることができる。
3	選んで読んでいるお話の、内容の大体（「だれが」「どうして」「どうなった」）を声に出して読みながら確かめる。		◎		【思】 場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。
4	「たぬきの糸車」の、大好きなところをいくつか選び、ペア交流を通して、声に出して読みながら、好きなわけをはっきりさせる。	◎			【知】語のまとまりや言葉の響きに気をつけて音読することができる。
5	選んだお話の大好きなところをいくつか選び、ペア交流を通して、声に出して読みながら好きなわけをはっきりさせる。		◎		【思】文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつことができる。
6	「たぬきの糸車」の、大好きな場面での会話を想像してペア交流し、吹き出しカードに書く。		◎		【思】場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。
7 本 時	選んだお話の好きな場面の会話を想像して、ペア交流し、吹き出しカードに書く。		◎	◎	【思】場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。 【主】大好きな本を紹介することに向けて選んだ

					物語を何度も読み返すなどしてよりよく説明しようとしている。
8	本の紹介に向けて、紹介する内容をはっきりさせ、声に出して紹介してみる。			◎	【主】紹介する相手のことと意識して内容をまとめている。
9	幼稚園に本の紹介を行う。			◎	【主】紹介する相手に自分の考えを伝えている。

10. 本時の展開(7/9時間目)

(1) 本時の目標

大好きな本の大好きな場面の様子に着目して、登場人物の会話を具体的に想像することができる(思(1)エ)

(2) 本時の評価規準

場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること(思(1)エ)

(3) 困難度査定とその対応策

・登場人物の会話が想像できない。

→こうした状況が「たぬきの糸車」で見られた児童については、強く「大好き!」「面白い!」を実感できる物語を手にできるように、丁寧に個に応じた指導を行う。その上で交流においては友達の想像した会話を聞くことを目標にし、交流後に友達の考えを取り入れても良いと伝える。児童同士でセリフを一緒に考えるお助けタイムもとるようにする。

・交流するときに、積極的に話せない。

→こうした状況が日常の学習や「たぬきの糸車」で見られた児童については、大好きな物語を手にできるように、十分に先行読書期間を取り、個に応じた指導を繰り返すとともに、ペア交流時に教師が3人目のメンバーとして、ペアの児童とのやり取りをつなぐ声掛けを重点的に行う。

(3) 展開

時	主な学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法
導入 5分	1. 単元のゴールと本時の学習のめあてを確かめる。	・幼稚園児に紹介する期日や、先行しているクラスの園児への紹介の様子の写真や動画をみて、ゴールを確かめる。	
大好きなほんのじょうかいにむけて、大好きなばめんで、いっていることをそぞうしてカードにかこう			
	2. 本時の学習の進め方を確かめる。	・交流のモデル動画で進め方を確認する。 A だれが、どうして、どうなったお話です。一番好きなのは、○○です。 (指さしながら、二人で音読) B どうしてそこが好きなの? →○○が、○○して、○○からだよ。 A マイ吹き出しを当てて、想像した会話を話す。 B 質問や感想を話す。	

展開 35分	<p>3・一人で大好きな場面の登場人物の会話を想像してみる。</p> <p>4. 相手を選んで交流を繰り返し、想像して会話をより確かなものにしていく。</p> <p>5. 想像した会話をカードに書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大好きな場面を声に出して読み、登場人物の挿絵にマイ吹き出しを当てて会話を想像し、声に出して言ってみる。隣の席に人に聞こえるくらいの音量ではっきりと声に出す。 ・並行読書マトリックスを使う。 (予想される児童の反応) ・自分の知っている本を選んでいる子と交流して、想像した会話を聞いてみたい ・はじめて見る本で興味があり、想像した会話を聞いてみたい。 ・同じ本を選んでいる子がいて、どんな会話を想像したか聞いてみたい。 ・じゅんびタイムでよく遊ぶあの子と交流してみたい。 ・相手を選んだら、必ず空いている席に横並びに座り、真ん中に本を開いて交流を始める。 ・会話があまり思い浮かばない子は聞くことから始め、交流を繰り返すうちに思いついたら言うようにする。 ・空いた席に横並びに座り、真ん中に置いた本の叙述を二人で指さして音読してからやり取りをする。 ・自席に戻り、もう一度大好きな場面を声に出して読み、マイ吹き出しを当てて会話を言ってからその通りに書き出す。 	<p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。 <p>【主体的な態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○大好きな本を紹介することに向けて選んだ物語を何度も読み返すなどしてよりよく説明しようとしている。
5分	6. 学習のまとめをする。	・	

(4) 本時における具体的な子どもの状況(※本時の評価規準に関わる場面において)

十分満足できる(A)	おおむね満足できる状況(B)	努力を要する状況(C)への支援
'おおむね満足できる状況(B)'に加えて、友だちとの交流から自分の考えを深めることができる。	マイ吹き出しを当てて具体的に会話を想像することができる。	教師と交流し、自信をつけて友だちと交流できるようにする。聞くことを目標にし、良いと思った友だちの考えをとり入れるよう助言する。